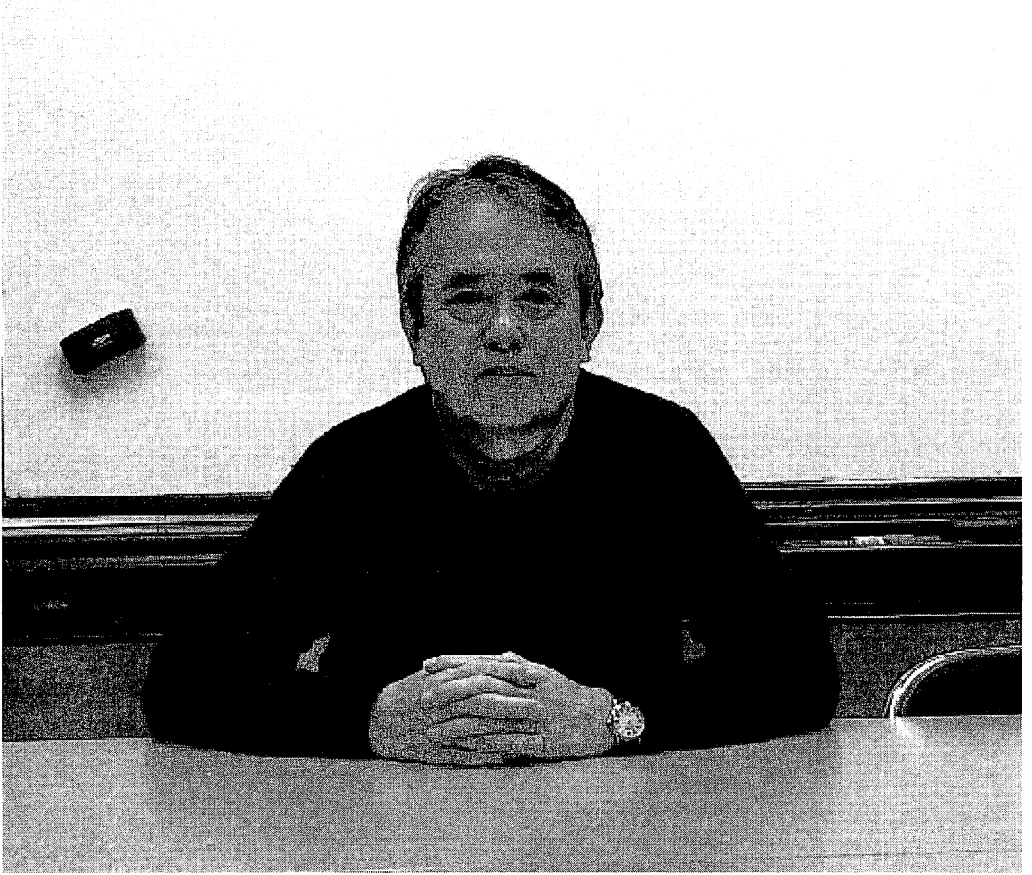


<b>Title</b>	山口久和略歴・著作目録その他
<b>Author</b>	山口, 久和
<b>Citation</b>	人文研究. 63 卷, p.5-8.
<b>Issue Date</b>	2012-03
<b>ISSN</b>	0491-3329
<b>Type</b>	Others
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学大学院文学研究科
<b>Description</b>	中才敏郎教授：山口久和教授退任記念

Placed on: Osaka City University Repository



山口 久和 教授

# 山口 久和 教授

## 略 歴

1948年7月4日 滋賀県彦根市に生まれる。

### 【学 歴】

1967年3月 大阪府立山本高等学校卒業  
 1969年4月 大阪市立大学文学部入学  
 1973年3月 大阪市立大学文学部（国文中文学科中国学コース）卒業  
 1973年4月 京都大学大学院文学研究科修士課程（中国哲学史専攻）入学  
 1976年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程（中国哲学史専攻）修了  
 1976年4月 京都大学大学院文学研究科博士課程（中国哲学史専攻）進学  
 1979年3月 京都大学大学院文学研究科博士課程（中国哲学史専攻）単位修得退学  
 1996年3月 博士（文学）の学位を取得（大阪市立大学）

### 【職 歴】

1979年4月 大阪市立大学文学部助手  
 1982年4月 大阪市立大学文学部講師  
 1984年4月 大阪市立大学文学部助教授  
 1996年4月 大阪市立大学文学部教授  
 1997年3月 大阪市立大学在外研究員として中華人民共和国に出張（1997年5月まで）  
 2001年4月 大阪市立大学大学院文学研究科教授  
 2006年4月 大阪市立大学大学院文学研究科評議員（2007年3月まで）  
 2012年3月 定年退職

### 【学会ならびに社会における活動】

日本中国学会会員  
 日本道教学会会員（1998年1月～2000年12月 評議員 2000年1月～現在 理事）  
 阪神中国哲学談話会会員

## 著作目録

### 【著 書】

1998年2月 『章学誠の知識論—考証学批判を中心として』（単著、創文社、406頁）  
 1999年6月 『三国志の迷宮』（単著、文藝春秋社、190頁）  
 2004年4月 『三国志の迷宮』（単著、韓国而学社、206頁）  
 2006年12月 『章学誠の知識論』（単著、上海古籍出版社、344頁）

### 【編 著】

2004年3月 『中国的現代性と城市知識分子』（共編、上海古籍出版社、249頁）  
 2005年9月 『城市知識分子の二重世界』（共編、上海古籍出版社、308頁）

## 【訳書】

1987年5月 『朱子学と自由の伝統』（単著、平凡社、316頁）

## 【論文】

- 1977年9月 「王船山研究-存在論を中心として」（『中国思想史研究』1）  
1977年10月 「支謙訳維摩経から羅什訳維摩経へ」（『印度学仏教学研究』26-1）  
1979年1月 「存在から倫理へ-王夫之『尚書引義』の哲学」（『東方学』57）  
1979年1月 「古代中国の自然法思想」（『東洋学術研究』18-1）  
1979年11月 「呂留良と張倬投書案」（『中国思想史研究』3）  
1981年3月 「清初の漢人とその処世-詩を以て史を証す」（『中国思想史研究-湯淺教授退官記念論集』）  
1981年11月 「黄宗羲「三峯禪師塔銘」考-黄梨州と済宗法諍」（『人文研究』33）  
1982年10月 「C.G.ユングと易経-共時性をめぐる比較思想的考察」（『東方宗教』60）  
1982年12月 「黄宗羲「三峯禪師塔銘」考-漢月法蔵と知解宗徒」（『人文研究』34）  
1985年12月 「明代復古派詩説の思想的意義」（『人文研究』37）  
1987年7月 「王夫之と『呂氏春秋』-自然主義の倫理とその批判」（『呂氏春秋研究』創刊号）  
1987年7月 「顧憲成-中道の理想主義者」（日原利国編『中国哲学史』、下）  
1987年7月 「黄宗羲-中国のルソー」（日原利国編『中国哲学史』、下）  
1987年12月 「諸葛孔明と劉備」（加地伸行編『三国志の世界』）  
1987年12月 「読『新理学札記』」（『人文研究』39）  
1988年6月 「ドバリ-著『朱子学と自由の伝統』の翻訳を通じて」（『中国研究集刊』宙号）  
1992年12月 「規範的解釈は妥当でないか-王力の訓詁学理論によせて」（『中国学志』訟号）  
1993年4月 「『三国志』の英雄と孫子」（加地伸行編『孫子の世界』）  
1994年4月 「易の理論」（加地伸行編『易の世界』）  
1994年5月 「宋学の大成」（竺沙雅章編『アジアの歴史と文化』）  
1994年12月 「シノロジーの解剖（一）-その批判と提言」（『人文研究』46）  
1995年12月 「シノロジーの解剖（二）-テキストと解釈」（『人文研究』47）  
1996年6月 「章学誠のテキスト理論-乾嘉樸学の読書論とその批判」（『中国-社会と文化』11）  
1998年12月 「シノロジーの解剖（三）-テキストと解釈（2）」（『人文研究』49）  
1998年12月 「中国における近代的学問知の成立」（『中国学会報』50）  
2000年12月 「シノロジーの解剖（四）-テキストと言語」（『人文研究』52）  
2004年3月 「中国近世末期城市知識分子的変貌」（『中国的現代性と城市知識分子』、上海古籍出版社）  
2004年1月 「近世城市知識分子的変貌—探究中国近代学術知識的萌芽」（『華東師範大学学報』第36巻第1期）  
2004年3月 「シノロジーの解剖（五）-著者・事柄・言説」（『人文研究』55）  
2004年8月 「テキストの身体化—読書行為史の一素描」（『中国における身体・自然・信仰』、東方書店）  
2005年9月 「近代的予兆と挫折-清代中期一個知識分子的思想和行動」（『城市知識分子的二重世界』、上海古籍出版社）  
2006年4月 「詩註の学—思想史の一端を窺うものとして」（『中国学の十字路』、研文出版）  
2006年11月 「折衷主義の苦悩と限界—顧憲成」（橋本高勝編『中国思想の流れ』、晃洋書房）  
2006年11月 「宋学の脱超越化—王夫之」（橋本高勝編『中国思想の流れ』、晃洋書房）

- 2007年 3月 「立身出世の階梯を諦めた人々-章学誠の“紹興師爺”像を中心に」(『都市文化研究』 9)
- 2007年 7月 「解構章学誠与王力—新考証学的可能性」(『華東師範大学学報』 第36巻第 1期)
- 2007年12月 「中国前近代知識人の都市をめぐる言説-日中比較の視点から」(『中国学志』 頁号)
- 2008年 1月 「中国近代知識分子圍繞城市的話語—従日中比較的觀點進行探討」(『杭州師範学院学報』 第30巻第 1期)

#### 【学会発表】

- 1973年 5月 「古代中国の自然法思想」(阪神中国哲学談話会、追手門大学)
- 1977年 1月 「王船山の哲学」(阪神中国哲学談話会、茨木市民会館)
- 1977年 7月 「維摩経の文体について」(第28回日本印度学仏教学会、日本大学)
- 1977年12月 「王船山研究-存在論を中心として」(第29回日本中国学会、武庫川女子大学)
- 1981年10月 「C.Gユングと易经-共時性をめぐる比較思想的考察」(第33回日本中国学会、北海道大学)
- 1986年 5月 「明代復古派詩説の思想的意義」(阪神中国哲学談話会、茨木市民会館)
- 1987年 5月 「清儒と『呂氏春秋』」(呂氏春秋研究会、日本大学)
- 1989年10月 「章学誠のテキスト論」(第41回日本中国学会、大谷大学)
- 1990年11月 「詩註の学について」(阪神中国哲学談話会、茨木市民会館)
- 1993年11月 「三国志と宋学のイデオロギー」(西南地区三国志研究小組(中国成都市)、成都武侯祠三国志研究中心)
- 1994年 7月 「陳寿の『三国志』をめぐって」(日本経済新聞主催学術シンポジウム、大阪国際文化交流センター)
- 1994年10月 「テキスト理解の準拠枠」(阪神中国哲学談話会、大阪市立大学医学部研修室)
- 1999年10月 「新たなる中国思想・哲学研究への提言」(第51回日本中国学会、関西大学)
- 2004年10月 「近代的予兆与挫折」(COEプログラム、華東師範大学)
- 2005年 3月 「章学誠言語理論的射程—超越文献実証主義」(華東師範大学人文学院外国人招聘教授講演、華東師範大学)
- 2006年12月 「章学誠と王力の脱構築—新考証学の可能性」(阪神中国哲学談話会、京都堀川会館)
- 2007年 2月 「立身出世の階梯を諦めた人々—章学誠の“紹興師爺”像を中心として」(COEプログラム、大阪市立大学)
- 2007年 3月 「解構章学誠与王力—新考証学的可能性」(華東師範大学人文学院外国人招聘教授講演、華東師範大学)